

新潟県 公民館月報

KOMINKAN GEPPU



February 2017
No.768



安田公民館 まゆ玉飾り作りとおはなし会(阿賀野市)

昔から伝わるまゆ玉飾りを親子で作りました。だんごをゆでている時間に図書館でおはなし会！

4~5 特集 全国公民館セミナー参加レポート

CONTENTS	2	トピックス	「県社会教育委員の視察・研修会開催 事務局長が講師」
	3	視点 ひろば 掲示板	「大車輪の活躍 生涯学習協会」フォーラム実行委員長 田原 理 「今、考えていること」 糸魚川市社会教育委員 伊藤 昭雄 「県公連第3回理事会、第2回評議員会」開催
	6	実践記録シリーズ	「自分で育てた野菜は格別！」～セカンドライフ農業体験講座～ 新潟市豊栄地区公民館
	7	サークル交流 素顔拝見	「笑って元気」(津南町) / 「あなたも参加しませんか！」(刈羽村) 渡邊 善則さん(小千谷市) / 杉本 崇さん(長岡市)
	8	お元気ですか information ネットワーク	「至福のひと時に浸る」 阿賀町・齋藤 正美さん

県社会教育委員の視察・研修会開催 事務局長が講師

第34期新潟県社会教育委員の視察・研修会が1月19日(木)に燕市中央公民館で開催され、田原事務局長が講師を務めました。当日使用された資料を提示してその内容を紹介します。

1 「公民館的機能」を持つ施設と公民館の違いは何でしょうか。

「生涯学習」の名のもとに民間業者や他の行政部門・施設で「〇〇講座」「〇〇大学」が多い。「公民館的機能を持つ」と担当者は言うが、公民館は社会教育施設である。↓「自分の意思で継続的に事業を行う教育機関」で計画的かつ長期的に行うのが公民館。単発講座や体系的に統一されていない「〇〇講座」は公民館で行う講座とは異なる。

2 「コミセンではなぜない」

(1) 公民館は無料が原則です。誰でも…なのに有料では負担困難者を排除してしまつ。無料原則が公民館を支えている。こんな例はありませんか。



会議で説明する田原事務局長(奥)

「サークル活動」は個人の活動で習い事だから使用料を徴収する。サークル↓仲間↓地域という発想がない。受益者負担というのはすりかえ論理。(2)「教育活動」として継続的、計画的「は公民館だからできません。」

「コミセンではこのことを主に運営しない。極論でいって、コミセンならやらなくて貸館だけでも良い。予算とかその時の都合で。なぜなら教育施設としての位置づけではないから。」

3 公民館に指定管理者制度はなじみません。

公民館は法的(社会教育法に規定された教育施設であり、指定管理者制度(法的根拠なし)はなじまない。

有名↓千葉県(市民団体の提言 H26年)

(1) 指定管理を撤回した全国の有名例
佐賀市(指定管理にした公民館をすべて元に戻した)、千葉市

(2) 現在の指定管理施設 7万以上
有名↓沖縄県那覇市
愛知県常滑市

(3) 指定管理を民間(那覇はNPO法人 常滑は会社組織)に任せるのは危険

↓民間は本来利益を目的にしている。利益がなければ縮小、撤退がある。

↓なぜ指定管理にしたがるのか。委員の皆さんで議論・追及していただきたい。

4 新潟県でも指定管理制度が始まりました。

始まりました。

(1) 刈羽村 平成28年度から公民館本館を指定管理に会社経営の管理下。新潟県で初。

県内その他では 地区館8館が指定管理 分館はもっと多い。

(2) 「コミセン」

〈柏崎市〉
32施設すべて「コミセン」に。公民館との複合施設でスタートしたがすべてを「コミセン」に移行。

〈妙高市〉
すべて「コミセン」(公民館・集会所等であるが実態は「コミセン」)。

〈長岡市〉
合併時に旧長岡市内公民館を「コミセン」に。周辺市町村は地区館として機能。

〈見附市〉
地区館の一部を「コミセン」化。

(3) 機構改革・管理委託・市長部局に移管。

〈糸魚川市〉

34地区館を21に統合。職員をすべて非常勤に。16分館を自治組織に移管。

〈三条市〉
市民部(市長部局)生涯学習課に。

5 参考 新潟県の社会教育の大発展を支えた「派遣社会教育主事」制度

派遣社会教育主事制度は昭和49年から平成9年まで継続した社会教育振興の国庫補助制度です。教員を「一般」「スポーツ」派遣として県内市町村に3年間40名配置。県内の社会教育・公民館・生涯学習の発展の基礎をつくり大発展に寄与しました。平成10年から国庫補助が一般財源化。新潟県は派遣制度から撤退。現在、同制度を全国で継続しているのは、北海道・青森・岩手・宮城・秋田・群馬・富山・京都・兵庫・島根・山口12道府県。他に県単で12県が実施しています。(文責 田原)



今、考えていること

糸魚川市社会教育委員
伊藤 昭雄



社会教育に携わって14年。ほかに現職の時、公民館勤務をしているので、殊更社会教育には心を動かされる。
平成の大合併以降、益々大切な時期を迎えている。反面社会教育はマンネリ化だ、雑ばくだ。役所が実施している事業で十分だ等の声がある。これに屈して黙っているのでは情けない。
平素考えていることがある。「公民館の中で実現してほしい」

3つの提言を抱えていることがある。
1、もともと子どももの協調性を培い、道徳心を育てる事業を強調し興すこと。
そうしないと、一人勝手な人間に育ち、アンバランスの大人社会になってしまつた。
2、公民館の中に学習広場を設置し、側面から学校教育を支援する。理由は、スマホやテレビ等との接触が過

刺で、読解や文作や思考力を伸ばしてもらいたいからである。
3、過疎化が進む中、遠地域からの移住者が意外と多い。諸条件を探求した上での移住者から情報を受け刺激を受けながら活性化を図りたいからである。
日頃の願いを実現に向けて働きかけることは今からでも遅くない。

視点

生涯学習県民フォーラム
実行委員長 田原 理

「大車輪の活躍 生涯学習協会」

1 県主催事業の企画会議に参加
県が主催する事業に民間団体の協力は珍しくありませんが、実行委員会を組織し、事業起案の段階から参画するのは画期的なことです。この民間団体とは、生涯学習協会も加盟している県社会教育関係団体のことで、県内10団体で構成されています。実行委員会ではこの団体が出席して実施期日や会場など事業の基本となることから意見交換を始めました。それぞれの団体はイベント開催には慣れてい

るので様々な意見が出て、毎回活気のある会議でした。
2 3回目を迎えたフォーラム
「にいがた生涯学習県民フォーラム」は開催3年目になりました。「前年より良い内容を」を合言葉に毎年レベルアップを図ってきましたが、今年度のフォーラムは前例のない豊富な内容が盛り込まれ大成功になりました。特に、高校生、大学生、ガールスカウト小学生などの若い人たちの参加が目玉になりました。また、ほとんどの加盟団体が発表ブースを設けて活動紹介を行い、体験コーナーを設置し

ている団体では多くの県民で賑わいました。生涯学習協会は主に開催二日目の運営の委託を受けて大車輪の活躍で大きな成果をあげました。
3 第4回目の開催に向けて
最大の課題は開催期日です。過去3回とも10月最終週の開催でしたが、寒い上に悪天候が多く屋外ブースでの活動ができませんでした。10月上旬の開催が望まれます。各加盟団体では協力活動が、その団体の県民へのアピールになりメリットがあるという認識が大切だと思えます。来年度はどんなアイデアが出るのか楽しみです。

掲示板 HOT NEWS

県公連第3回理事会、第2回評議員会開催

本年度の総括と来年度運営基本方針、事業、予算等を審議する理事会、評議員会を下記により開催します。

- 1 会場 新潟市中央公民館「クロスパル新潟」
〒951-8055 新潟市中央区礎町3ノ町2086
電話 025-224-2088
- 2 日時 平成29年2月21日(火)
理事会 10時～ 405講座室

- 評議員会13:00～16:00
403・404講座室
- 3 内容 (1)会務報告 (2)基本方針、重点目標、事業計画 (3)来年度県大会開催概要 (4)関プロ情報 (5)負担金の確定 (6)負担金見直し検討委員会 (7)県大会開催順 (8)その他

特集

全国公民館セミナー参加レポート

全国公民館セミナーに参加して

小千谷市生涯学習スポーツ課 久保田 千 昭

「公民館は、必要なのか?」という疑問を持ちながら全国公民館セミナーに参加しました。その答えのヒントとして印象に残った事柄に私見を加えお伝えします。

○「人口減少↓税収が減る↓行政サービスの低下」の流れに対応するために、自治を高める必要がある。そのためには、ブレーンを作り役割分担をして組織的に動かすことが求められる。だからこそ、人を育てネットワークを作る。今、話題になっている地方創生は、社会教育をどう進めるかという問題です。

○総合的なまちづくりとして、役所はそれぞれの立場で地域の声を吸い上げ、課題の本質をつかむこと。しかし、その地域の課題は、地域が決め、解決するための学びと実践をするのです。

○子どもから大人まで多くの市民が、「学び」を



通して、人と人とのつながりを持ち、楽しみながら、豊かなコミュニティを形成することを支援するためには、社会教育行政が重要な力ギと考えられます。そして、その拠点が公民館です。

○住民にとって、いい公民館は必要だが、そうでないならいらない。

○公民館が創設され70年を迎え、改めて寺中構想の普遍性と奥深さを知ることができました。

○県公連からご支援のもと、これからの社会教育や公民館を考える良い機会を与えていただき、皆様に感謝申し上げます。

全国公民館セミナー レポート

長岡市中央公民館 金塚 ひろみ

当セミナーは、公民館における「教育」の意味を、今の時代に合わせて狭義に捉えなおすことができた点で、意義のあるものだった。

牧野先生が述べた、知識付与型講座からの脱却という概念が、特に印象に残っている。近代の公民館における「教育」を、知識付与型講座中心の、消費されるものが最終目標である「福祉」的なものとするならば、現代の公民館の「教育」は、そこから脱却し、市民に自律的、主体的学びを促し、地域社会の担い手を養成する、より「教育」的なものであるべきだという考



えは、今日の公民館運営の根幹的理念であると感じた。さらに、地域課題に取り組む人材の育成は、現代の社会教育の使命とも言える。

しかしながら、この社会教育の使命は、必ずしも公民館という手段によつてのみ果されるものではなく、あらゆる社会課題の分野において、それぞれに人材育成が行われることを目標とした、新たな方法の模索も、一つの社会教育の推進の在り方なのだと感じた。

全国セミナーに参加して

新発田市加治川地区公民館 飯田 崇信

1月16日から18日の3日間、国立オリンピック記念青少年総合センターで各都道府県から公民館関係者80名が集い、「第28回全国公民館セミナー」が開催された。

セミナーでは、公民館が地域社会の中で力を発揮していくための今後の在り方について、また現場の優れた実践や有識者の助言を通して、どのようにし

て地域に必要とされる施設を目指すべきなのか、ワークショップ、事例紹介などが行われた。

セミナー全体を通じて、これからの課題は地域の主体性であると感じた。

繋がりがなくなり、地域に居場所がなくなったことや、メール・SNS等の普及により人と接しなくても生活できる社会になったため、コミュニティが崩壊してきている。これからは地域の知恵と努力が大切であり、そのため事業だけを行っている公民館は不要。「町づくり、人づくり、健康づくり」が重要になってくるため、住民が集い協力していく仕組みを作り、人と人を繋ぎ、地域に主体性を持たせることが公民館の役割だと感じた。

心を新たに地域に寄り添い、地域の人々と繋がっていくことが強く思ったセミナーでした。

「公民館の存在意義を考える」

新潟市新潟地区公民館 江田 孝志

国境の長いトンネルを抜けると…超快晴!! 1月16日、大雪の新潟から全国公民館セミナーへ参加するために東京へと向かった。今回の研修テーマ「公民館70年・現代的な存在意義を考える」を見て、公民館1年目の私としては興味はあるのだが、何か少々難しいテーマだなと思いつつ研修に臨んだ。

そのような中で、私が3日間の研修を通して特に印象に残ったこと。それは、とりあえず主催事業をすればいいという公民館は必要ない、住民自らがそこで活動し住民と一緒にやっていくような公民館が必要であるという講師の言葉だった。まだまだ新潟地区公民館がその域まで達するには時間がかかるとは

思うが、「なくされたら困る」と住民から思ってもらえるような公民館になれるよう、常に地域に目を向け、少しずつでもコツコツと日々ネットワークを広げていきたいと感じた。

1月18日、新潟へ戻ると大雪の峠は越えて積雪量もかなり減っていた。今回のセミナーに参加し、私の「公民館の存在意義」に対する考え方も少し楽になった気がした。

第28回全国公民館セミナー参加報告

新潟市中央公民館 江花 菜穂子

1月16日朝、えっ!? 吹雪!! 積もった雪に足を取られ何とか新潟駅に到着し予定より一本早い新幹線で一路東京へ。車窓から見えるのは鉛色の街の風景。それが22キロの長いトンネルを抜けると澄み切ったブルーの景色に変わった。たった22キロ山の中を通り抜けただけなのに全然違う…(合点がゆかない、したくない)。着いた会場で汗を拭く。ちょっと厚着し過ぎたかな…。

全国各地から関係者が集い「公民館70年 現代的な存在意義を考える」全国公民館セミナーが開催された。初めに全国公民館連合会事務局の村上さんが「今年のセミナーはどれも素晴らしい内容です。」と自信を持ってお話しされた通りの3日間とも貴重な話が盛りだくさんで中身の濃いセミナーでした。

特に1日目の「これからの公民館の新しい役割と存在意義」についての対談では「公民館が設置されて70年。社会は、経済格差による貧困やその連鎖と教育格差、また、少子超高齢社会となり地縁の希薄化による地域力の低下など様々な困難を抱えている。今こ

そ社会教育が果たす役割は大きなものになっている。施設の統廃合や看板の掛け替えなど公民館の数は減少し、予算や人員の削減など公民館を取り巻く状況は厳しいけれど、これからの公民館はただ講座をするのではなく、地域課題に取り組み、地域の人が自ら考え解決していく、そんな地域づくりの核にならなければならない。地方創生は公民館なくしては実現しない」「本気で大人が頑張る、大人が変われば、子どもが変わり、未来が変わる、これが社会教育であり、公民館の役割」という討議が繰り広げられた。社会教育に携わる私たち一人一人が自覚と責任を持ってやり抜くことが求められ、講座などの事業は手段に過ぎず、目的をしっかりと捉え、目標を設定し成果を検証する、当たり前のことだけ忘れられることがあると再認識しました。

ファシリテーターの村松真貴子さんが「言葉は、未来をつくる道具です」「生きることは、居場所をつくること。人と関わり、生きがいを持って生きる、その手助けをするのが公民館です。」と結ばれたのが心に響きました。

このセミナーに集い、講師や全国の公民館で頑張る同志から多くを学び、たくさんの人とつながることができました。実践あるのみ!

宿舎の窓から綺麗な富士山を眺めることができたハッピーな3日間でした。



実践記録シリーズ

227

自分で育てた野菜は格別！ ～セカンドライフ農業体験講座～ 新潟市豊栄地区公民館

【セカンドライフ農業体験講座とは】

この講座は、新潟市が農業戦略特区に認定されたのを機に、退職後あるいは直前の男性をターゲットとし、生きがいづくり・仲間づくり・健康づくりとして家庭菜園を体験してもらおうという趣旨で、新潟市公民館での取り組みとして始まりました。館内で検討した結果、当館で取り組むことになりました。このほかに3館が事業化し、新潟市内4館で実施することになりました。

【実施までの準備】

畑の確保から、指導者探しなど、計画づくりが始まりました。なかなか良い案が決まらないうち、たまたま空き地となっている畑が見つかり、また市民農園の指導者などに手ほどきをしてもらえることになりました。

事業のやり方としては、1人1坪程度の区画を割当て、それぞれが土を耕し、苗を植え、肥料を蒔き、自らが管理する形としました。作付するのは、前半がミニトマトと枝豆、後半が大根という長丁場です。作業で使う用具を揃え、苗や種の手配をし開講を



待ちました。

【実施してみると】

平成27年春に市報で受講者を募集すると、定員15人に対し12人の応募がありました。初めに座学を2回行い、それから、実際に畑での実習に入りました。

すでに家庭菜園を行っている人も多く、手慣れた動きで作業する人もいる一方、全く初めての方もいます。各目の区画を設けたため、自分が作った作物という意識を持つてもらい、互いに競争しながら育ててもらいました。

案の定、手間暇をかけた人は良く育ち、怠けた人はそれなりの作となりました。それでもミニトマトと枝豆は発育もよく、獲れたての新鮮な作物を味わうこと



ができ、受講者は満面の笑みをほころばせていました。続く大根も大きく太り、食べきれないほどでした。



【今後の課題と展望】

次回はさらに希望者が増えるでしょう。収穫した作物を現金で換算すると、1万円をゆうに超えます。はたして、わずか15人だけがこの講座の恩恵を受けることが良いことなのか、疑問を感じます。作業を楽しんで、知識を習得し、さらに受ける恩恵をどう地域社会に還元していくのか。また、当市の公民館では、ほとんどの講座は無料です。想定される受益に見合う受講料設定を考えてみる必要があるのかなと思います。最終年度となる29年度は、消費者(受講者)と生産者(指導者)との交流により、より食と農への理解や関心が高まることを期待しています。

新潟市豊栄地区公民館 熊谷 澄人



笑って元気

奇跡の笑いヨガ津南クラブ

時々、大笑いしましょうと民生委員の仲間で結成した『笑ってみる会』から平成24年に独立した『笑いヨガ津南クラブ』は、ヨガの呼吸法と笑うという体操を組み合わせた健康体操で心と身体の健康を維持しようとして活動するクラブです。

まだまだクラブ員は少ないですが高齢者施設を訪問したり、地域の活動に参加したりして一緒に大笑いをしてストレスを解消し、幸せを感じています。誰でもどこでも理由なく笑える化学的健康法の笑いヨガが大好きな仲間です。

『辛い時こそ笑おう！』『嘘



でもいから笑おう！』と毎月末の木曜日に文化センターを会場に笑っています。どんなでも予約なしで参加出来るので是非気軽にお越しください。一緒に笑ってくださる方、大歓迎です。

津南町・奇跡の笑いヨガ津南クラブ
(代)村山友季子 記

あなたも参加
しませんか！

刈羽村文化協会

私たち刈羽村文化協会は、平成9年に刈羽村の芸術文化の発展に貢献しようという目的で設立されました。現在は16団体、約200名の会員の皆さんが所属しており、毎日楽しく活動しています。生涯学習活

動の一環として、社会の変化に適応する為に個人の資質を高め、より豊かで潤いのある生活を目指して活動をしています。又、毎年11月に開催される刈羽村文化祭では日頃の成果を発表することにより、地域の皆さんの楽しい交流の場として大きな役割を果たしています。お住まい・年齢を問わず、多くの方の入会をお待ちしています。



文化協会研修旅行 十日町市

刈羽村・刈羽村文化協会
会長 中澤 洋一 記

長岡市中央公民館
主任 杉本 崇さん



4月から長岡市中央公民館と一緒に働く杉本崇さんをご紹介します。

杉本さんは、パッチリした瞳と優しい顔立ちが印象的な好青年。前向きな性格で新しい企画を提案してくれます。

担当する生涯学習人材バンク「まちの先生」では、先生の魅力や講座の面白さをわかりやすく伝えるため、配属前の広報編集課での経験を武器に、ホームページやフェイスブックへの掲載をスタート。アクセス数はどんどん増え、評判は上々です。

そんな杉本さん、家庭では2児のパパとして子育てに奮闘中。チョコレートなど甘い物が好物ですが、最近、家族のため健康に気を配り、野菜中心の食生活を心がけているそうです。

これからも、中央公民館の若きエースとして、飛躍を期待しています。

(長岡市中央公民館 山井 真樹 記)

小千谷市公民館
館長 渡邊 善則さん



今回は、当公民館の館長渡邊善則さんをご紹介します。

くしくも今年度は、小千谷市公民館が創設70周年を迎え、さまざまな記念事業を展開した記録に残る年に就任されました。それまでは小学校の校長先生として教育現場に携わり、公民館では即実践力のある社会教育主事の資格を持った心強い館長です。

また、記念事業の合間に、館長担当の講座も開設しました。ご自身と等身大の方を対象に、充実した老後へ向けての準備講座「シニアcafe」。小千谷縮・錦鯉・西脇順三郎・日本酒をテーマに、郷土の文化や歴史に触れて興味をそそり、ゆとりある時間を有意義に過ごせる老後を送ってもらいたいという願いが込められた、館長ならではの視点とセンスが溢れる講座になりました。

今年度は大変ハードな1年でしたが、いつも館長の物腰の柔らかさと優しさで、その場の空気が和らぎ救われました。渡邊館長、これからもよろしくお願ひします。

(小千谷市公民館 係長 林 真紀子 記)

素顔拝見

information

県社会教育委員に水島幸枝氏が就任



水島 幸枝氏
(県公連副会長
長岡市中央公民館長)

3期6年間にわたり委員であった田原 理・県公連事務局長に代わり、第34期新潟県社会教育委員に水島幸枝・県公連副会長が就任しました。任期は平成28年度、29年度の2年間です。委員は小・中・高・大学の代表、報道関係、NPO 法人、社会教育団体、行政、一般公募者の17名で構成されています。会議は年間3回(視察1回)開催されており、その内容は県ホームページに公開されます。

ネットワーク

県社会教育団体懇話会
(社団懇)の事務局長会開催

2月2日(木)に今年度の総括と来年度事業を検討する事務局長会議が開催されます。それに先立ち、社団懇幹事会が1月24日(火)に開催されました。幹事団体は、県公連・小中PTA連・県子連・生涯学習協会の4団体です。オブザーバーとして県生涯学習推進課の担当係長が出席しました。4年目を迎えるフォーラムの開催についての説明、協議等が行われました。また、当日の会議運営の役割分担も決定しました。事務局長会の内容は3月号で紹介いたします。

お元気がですか

「至福のひと時に浸る」

齋藤 正美
(東蒲原郡阿賀町)



退職して5年を迎える。先輩からは、「退職後は、体力・気力に心掛けるべし」との助言を頂戴した。その教えをもとに、2つ実践に移行した。
1つは毎日、坂道を組み合わせた一時間程のウォーキングである。その成果を活かし、磐梯山・安達太良山をはじめ会津の山々へ、新緑と紅葉の観賞に出かける。至福のひと時に浸ることができる。

2点目は郷土史との関わりである。現在、「阿賀路の会」「津川古文書を読む会」「阿賀町道路元標保存会」に入会している。もとより浅学菲才の身であるが、それぞれで得た知識を地域に還元したいと思い、町公民館で行われる「あが歴史教室」で講師をさせて頂いている。また、昨秋、保存会は三郷小学校と連携し、6年生を対象に校門前に設置された「小川村道路元標」の

課外授業を行った。教室では設置の歴史と当時の東蒲原郡十一ヶ町村の様子を話し、郊外では元村役場跡地と道路元標を見学した。故郷の歴史の一端を、少しでも児童に伝える機会を得たことに、喜びを感じている。郷土史に携わると調査研究のために、初めてお会いする地域の人々との交流の輪が広がる。現職時には味わうことのなかった、至福のひと時に浸ることが出来る。
しばらくは、この2つをライフスタイルとしたいものがある。

※「お元気ですかのコーナー」は現役をリタイアした方がその後「元氣に活動している様子」を紹介するコーナーです。

地すべり被害を未然に防止するため取り組んでいます

協議会会員12市町では国土保全を念頭に、地すべり地域の保全と自然環境の保護及び地域振興に取り組んでいます。

そのため、地すべり防止対策事業や関連事業による農業並びに生活基盤の改善を積極的に推進しています。

新潟県農地関係地すべり防止事業推進協議会
会長(妙高市長) 入村 明(会員12市町)

新潟市中央区新光町4-1 新潟県自治会館(新潟県市長会内)
TEL 025(284)3434 FAX 025(285)3135

事務局長のつぶやき

新横綱稀勢の里誕生は連日の二ニュースになりました。優勝を決めた直後にNHKが速報を流したのは異例のことでした。それほど日本中が注目していたということでしょうか。
今朝の日報で、お母さんが新潟市亀田出身ということを知りま

した。つべが大好きとわかり余計な親近感がわきました。稀勢の里の立派なこと①89場所まで休場はわずか1日しかない②テレビの取材は受けるがバラエティ番組出演は固辞するおまけに、全国都道府県魅力度ランキング最下位の茨城県は稀勢の里の出身県として人気が出て一気に15番上位に行くかもしれません。
(田原)